

第6回サプライヤ交流会開催報告

企画委員会 野村 耕二
(芝浦メカトロニクス株式会社)

企画委員会が中心となり、9月5日 17:15～20:00、インターコンチネンタル横浜ベイブリッジカフェテリア(パシフィコ横浜会議センター6F、目の前は大観覧車「コスモクロック21」で夜景が美しい)にてサプライヤ交流会を開催しました。参加者の利便性を考慮し、開催日・場所を「VACUUM2018-真空展」に合わせて設定しました。本交流会は、JVIA会員(正会員、賛助会員、協賛会員、特別会員等)会社の内、JVIA理事会社(主に装置、真空ポンプ等メカ)とサプライヤ会社(主に組込み製品・材料、加工部品等メカ)のマッチング及び相互交流を目的に実施しております。JVIA理事会社にとっては、新たなサプライヤ会社からの調達が可能となり、サプライヤ会社は業界を熟知していることから品質の安定、短納期、量産効果でのコスト低減等が期待できます。一方サプライヤ会社にとっては、新規顧客の獲得、新規分野への参入、売上増加、業界の情報収集等の利点が挙げられます。以上を鑑み開催案内の際、JVIA理事会社に対し理事本人と調達部門等の担当の方に出席のお願いをし、また、会員以外のサプライヤ会社も参加対象にしました。さらに今回は、真空展と併催の難加工技術展&先進加工プロセス展&表面改質展の出展社に当日開催案内を配布したところ2社の参加がありました。

本交流会は、2部構成で、第1部は参加者全員着席でのサプライヤ会社によるプレゼン発表、第2部は立食での懇親会の形式で行い、参加社数・人数はJVIA理事会社15社・30名(内理事9名)、サプライヤ会社20社・41名(内非会員5社・15名)、スタッフを含め総勢88名の参加となりました。参加者全員に「競争法(独禁法)遵守資料」をプログラム・参加者名簿と共に配布しました。

最初に、開会に際しJVIA会長(株式会社アルバック 取締役相談役) 小日向様から「活発な交流の場としていただきたい」とのご挨拶。次に司会JVIA企画委員会中山委員長より、参加されているJVIA理事の紹介がありました。

そしていよいよ第1部のプレゼン発表ですが、今回は、昨年度以降JVIAの新会員になられた会社を含むサプライヤ会社7社にあらかじめプレゼン資料を準備していただき、各社6分の持ち時間で、会社案内、業務得意分野等をアピールしていただきました。

第2部の懇親会は同会場で18:25より開始、始めに参加者紹介として、全員が円陣となり、司会者が会社名を読み上げその参加者に挙手していただきました。さらにお声かけし易いよう参加者全員にそれぞれJVIA理事会社、サプライヤ会社、スタッフ毎に色分けした名札を付けていただきました。

中締めは、JVIA常任理事(佐藤真空株式会社 常務取締役)佐藤様から「本日の出会いを各社業績拡大につなげ、真空業界をますます盛り上げていきましょう」の挨拶で締めくくりました。今回は中締め後も多くの方が活発に懇談される程の盛況振りでした。

最後に、本交流会について、参加いただいた皆様にアンケートをお願いしました結果、全体を通して参加してよかった、有意義であった、来年

も参加したいとの高評価をいただきました。発表サプライヤの中には15社以上と名刺交換できたとの声もあり、活発な交流が計れたものと思われます。こんな企業を紹介してほしいなどの要望も寄せられ、事前に希望聴取することでより具体的な商談促進することで会員企業活動の活性化につながる可能性も見受けられました。それらの意見を可能な限り反映し、今後もJVIA会員の皆様にとって、より快適で実のある結果が期待できるようなサプライヤ交流会にして行きたいと思っております。

今回御参加下さいました皆様、本当にありがとうございました。次回サプライヤ交流会にご期待ください。



プレゼン発表の様子



交流会の様子

アンケート集計結果

